

学校の教育目標

みつけ たすけあい やりぬく子

【学校課題】

- 自分の思いを相手に伝えようとすることができる。
- 仲間のよさを見つけることができる。
- △より確かな自己理解に向けて議論する力が不十分である。
- △今までの自分や今後の課題等、自己を見つめる力に弱さが見られる。
- △探究課題をもって主体的に判断し、解決するために行動しようとする力がまだ十分とはいえない。

【めざす子どもの姿】

**共に生きる喜びをつくりだす子**

- 互いの考えを聞き合って、よりよい生き方を追求できる子
- 主体的に判断し、行動できる子

研究主題

**共に生きる喜びをつくりだす子の育成**

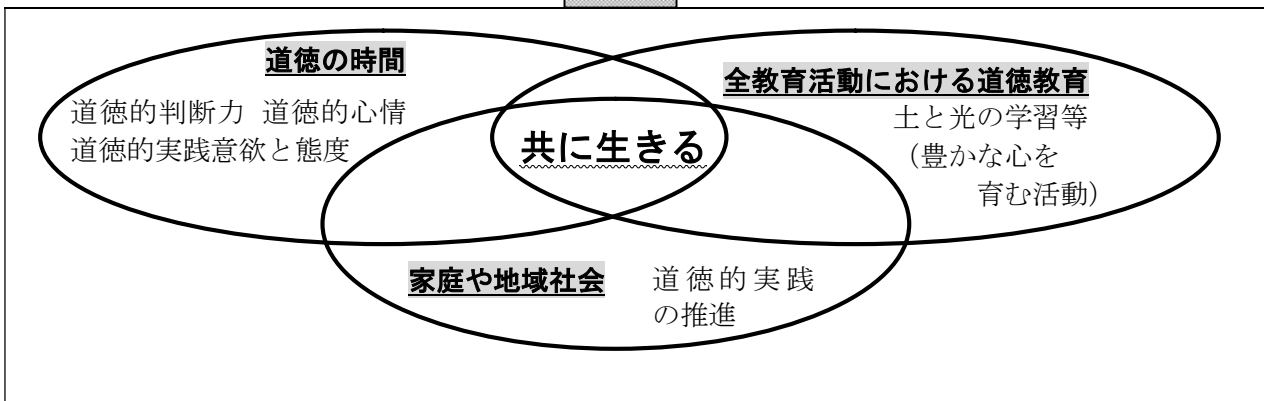
～全教育活動を通した道徳教育を土台とし、主体的に考え・議論し、自己の生き方についての考えを深め合う道徳の時間の在り方～

研究の仮説

「土と光の学習」等における道徳教育を土台とし、道徳の時間に主体的に考え・議論して道徳的価値を理解したり、自己の生き方についての考えを深めたりすることで、道徳性を養い、「共に生きる喜びをつくりだす子」を育成することができる。

研究の内容

- 1 道徳的価値を理解し、自己の生き方についての考えを深める道徳の時間の工夫
  - ①子供の実態に即したねらいの明確化
  - ②考え・議論する道徳の指導過程の工夫
- 2 主体的に判断し、課題解決をする力を育む「土と光の学習」等の充実
  - ①道徳教育のねらいを明確にした指導計画の工夫
  - ②課題をもち、主体的に解決するための手立ての工夫
- 3 道徳的実践の推進
  - ①互いのよさを認め合い、温かい人間関係を築き、自己肯定感を高めるすてきみつけ
  - ②主体性を育むボランティア活動



学年部	低学年部	中学年部	高学年部	特別支援部
重点内容項目	A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 B- (6) 親切、思いやり C- (12) 勤労、公共の精神 D- (17) 生命の尊さ	A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 B- (6) 親切、思いやり C- (13) 勤労、公共の精神 D- (18) 生命の尊さ	A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 B- (7) 親切、思いやり C- (14) 勤労、公共の精神 D- (19) 生命の尊さ	A- (5) 希望と勇気、努力と強い意志 B- (6) 親切、思いやり C- (12) 勤労、公共の精神 D- (17) 生命の尊さ